

総合振興計画等評価委員会 答申

「第2次総合振興計画後期基本計画」「第2期総合戦略」で定めた施策の進捗や成果を、評価委員会(影山和典委員長)で評価し、9月5日に答申書が提出されました。

評価委員会での意見は、来年度事業の組み立てに反映していきたいと考えています。主な意見は下記のとおりです(詳細は町ホームページに記載)。

①総合振興計画等目標指標の状況(主な指標)

目標指標	基準値(H30)	実績値(R6)	目標値(R6)
出生数	23.8人/年 119人/5年 (H27-R1)	13人/年 (R2-6平均値20人)	30人/年 150人/5年 (R2-6)
社会増減数	±0人/年 (H27-R1)	-47人/年 (R2-6平均値-13人)	+5人/年 (R2-6)
婚姻数	14組/年 (H26-30)	2組/年 (R2-6平均値5組)	20組/年 (R2-6)
UIターン移住者数	47.5人/年 (H27-30)	45人/年 (R2-6平均値39人)	53人/年 (R2-6)
ふるさと納税件数と納税額	4,896件 141,885千円	4,576件 151,954千円	6,500件 200,000千円

②施策ごとの主な意見について

政策分野1 自治・協働

- 地域コミュニティの活動支援
- ・地域の役の整理と共に、地域コミュニティを支援するための自治体等(社協含む)の推進体制も構築していただきたい。

政策分野2 教育・文化・子育て

- 子育て世帯への経済的支援
- ・飯南町は全国に名だたる子育て支援ということで雑誌などで見かけるが、ここをもっと磨いてほしい。全国的にみると3,4番目なので、財源のことはあるが、1位になるよう強みを磨いてほしい。

政策分野3 産業

- ブランド化の推進
- ・飯南米のPRは非常によい取組だと思うが、そこはファーストステップであって、その後どうやって米農家の収入を増やすかまで考えないといけない。良いものを作っているのはみんなわかっていて、あとは売り方の問題なので、そこをもう少し考えるべき。

政策分野5 生活環境

- 受け入れ体制の充実
- ・UIターン者が増えているのに人口の社会減が増えている。単純に考えると町民であった人が出て行っているということ。町民が町外に出たいという理由があるはずで、その原因を突き詰めないと、この傾向は続くのではない。

政策分野6 自然環境

- 自然環境保全意識の啓発
- ・コンポストは分解したものを肥料として活用できるが、畑や花壇がない家庭にも広げようと思うなら、作ったものをどこかで集めて、例えば「ここに来れば無料でもらえる」というような、最終的な活用方法までできていると広がりやすいのではない。



塚原町長が影山委員長から答申書を受領しました。

島根県種畜共進会

9月27日(土)



松原健吾さんが出品した「きなこ号」

島根中央家畜市場(松江市宍道町)で、「令和7年度島根県種畜共進会」が開催されました。本町からは、8月に開催した「飯南町秋季畜産共進会」で上位に入賞された渡部雅弘さん(上来島)、松原健吾さん(野萱)、山田多美子さん(八神)がそれぞれ1頭を出品。島根県内の牛とグラランドチャンピオンの座をかけて競い、松原健吾さんが出品した「きなこ号」が優秀賞三席を受賞しました。

明治安田生命相互保険会社に感謝状

10月2日(木)



明治安田生命松江支社の小山支社長(左)と塚原町長

明治安田生命相互保険会社から寄附金(711,800円)の目録贈呈があり、塚原町長から感謝状を渡しました。同社は「私の地元応援募金」として、全従業員が出身地などのゆかりのある地域の自治体などに募金し、会社からの寄附を上乘せし、自治体に寄附されています。同社からの寄附は4年連続。この度の寄附金は町民の皆さんの健康増進事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

しめ縄づくり体験活動

10月6日(月)
10日(金)



思いのほか力があることに驚きながら撚り合わせました

ふるさと学習の一環として、町内小学校4校の3年生が2組に分かれ、しめ縄づくり体験活動を行いました。しめ縄づくりを通して、ふるさとに愛着を持つってもらうことを目的に毎年実施。今年度は赤名小と来島小児童が2メートル級のしめ縄の撚り合わせを体験し、頓原小と志々小の児童が小型のしめ縄づくりを体験しました。体験した児童は「大きいしめ縄はみんなで力を合わせないとできないことがわかった」と話していました。

宝くじ 広く社会に役立つ



テーブル、パイプイスなどを整備しました(向谷自治会)

地域活動の活性化のため、宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け、向谷自治会と川東自治会の2団体が、エアコンをはじめとした備品を整備しました。この事業は、(一財)自治総合センターが、地域のコミュニティ活動の充実・強化と地域社会の健全な発展、住民福祉の向上のため、宝くじの受託事業収入を財源として実施する事業です。